

事業番号：56

事業名：認知症普及啓発

高齢者福祉課

墨田区地域福祉計画における位置づけ

【基本目標】

2 区民が安心して暮らせる福祉のまちをつくる



【取り組みの方向性】

II 誰もが心を通わす暮らしやすいまちをつくる



施策1

地域の中で共に生きる意識を高め、活動を支援する（心のバリアフリーを推進する）

目標 令和8年度の姿

◆ 小さいころから福祉教育を受けた人が増えて、共に生きる、支えあうという意識が養われています。

◆ 多世代交流の機会や福祉施設の住民交流活動への参加者が増え、誰もが差別されことなく、地域の一員として生活しています。

◆ 障害者と地域の相互理解が深まっています。

事業概要

認知症になっても住み慣れた場所で安心して暮らすことのできる地域づくりを行うため、認知症の正しい知識の普及啓発や理解の促進を図る。

◆認知症サポーター養成講座

…認知症についての正しい知識や支援のありかたを学ぶ講座

◆認知症ケアパスの配布

…認知症の症状に合わせた適切な支援を選択できるように支援内容をまとめたもの

◆すみだオレンジかるたの配布

…認知症について、遊びながら学べる。

◆世界アルツハイマーデー及び月間に関する周知

…区報の認知症特集記事の掲載や区役所での展示



認知症サポーター養成講座
ステップアップ教室の様子

事業の実績、事業評価と課題

【近年の実績と事業評価】認知症サポーター養成講座開催回数及び人数

年度	令和4	令和5	令和6
数値的な実績	87回 1,925人	96回 2,417人	106回 2,525人
事業評価	A	A	A

【課題】

実績は毎年度増えており、意識の醸成は図られているが、多世代交流の機会や地域の交流活動への参加にはなかなか繋がられていない。

今後の展望

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的である共生社会の実現の推進に向け、認知症の人のみならず全ての人が相互に尊重しつつ支え合いながら暮らすことができるよう事業を実施していく。

- ・ 認知症についての正しい知識や支援のあり方を学んだあとに、認知症カフェやチームオレンジなど地域で活動できる人材を育成する。
- ・ 認知症の有無にかかわらず、地域での交流や活動の場について周知していく。
- ・ 認知症について関心が薄い人達にも自分事として捉えてもらえるような機会を創出する。